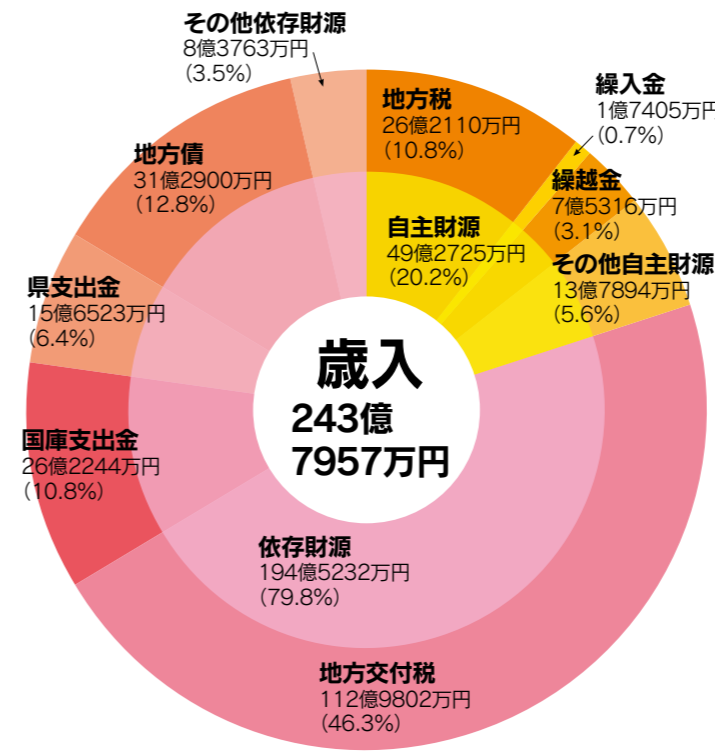
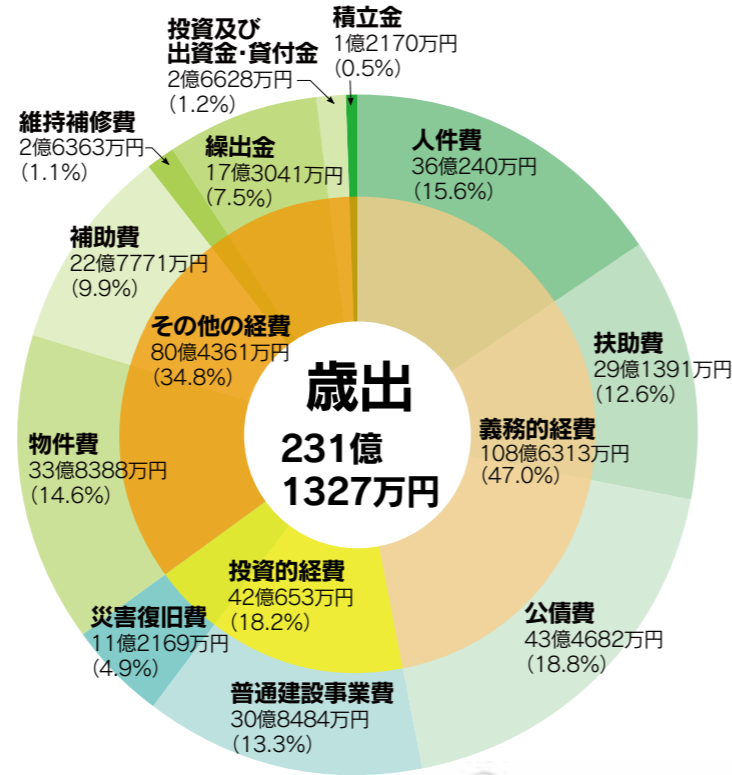
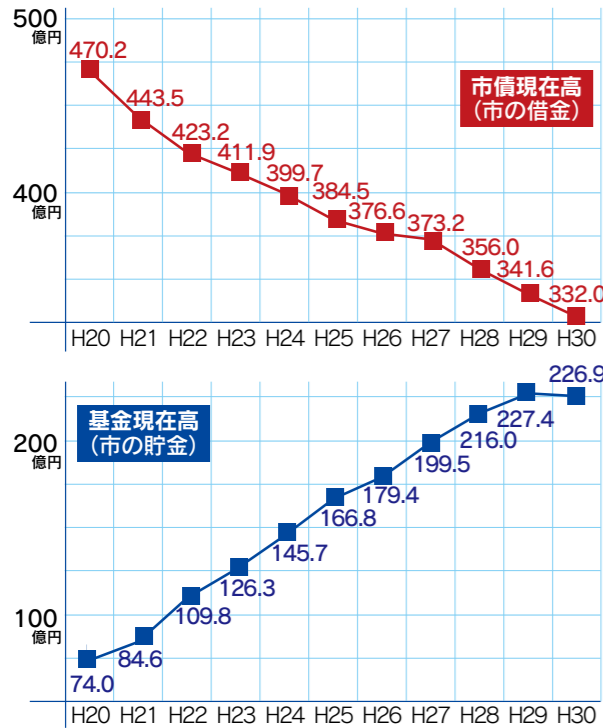


平成30年度 決算報告

9月に開催された三好市議会定例会議において、平成30年度の一般会計および各特別会計の決算が認定されました。決算とは、1年間にどれだけの収入（歳入）と支出（歳出）があったのかをまとめたものです。市税や地方交付税などの大切なお金がどのように使われたのか、現在の三好市の財政がどのような状況なのかを報告します。

基金現在高と市債現在高の推移



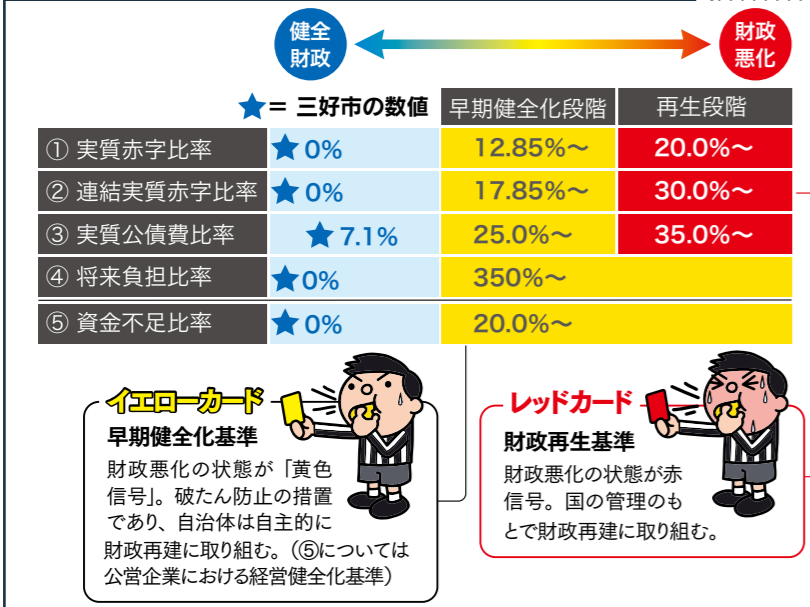
特別会計	歳出決算額 (万円)
井内財産区	43万円
国保 (事業)	33億6423万円
国保 (直診)	2億1841万円
後期高齢者医療	4億7028万円

事業	金額 (万円)
浄化槽事業	2億3914万円
農業集落排水事業	5587万円
簡易水道事業	472万円
水道事業	12億6678万円
病院事業	9億8589万円



平成30年度決算における 財政健全化比率および資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率および資金不足比率を公表します。



実質赤字比率…普通会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示す比率。
連結実質赤字比率…全会計の赤字や黒字を合算し、自治体としての赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示す比率。
実質公債費比率…自治体の財布から借金返済にどれだけ充てられているかを示す比率。
将来負担比率…一般会計の借金や、将来支払っていく可能性のある債務などが、将来財政を圧迫する度合いを示す比率。
資金不足比率…各公営企業会計の資金不足を公営企業の事業規模と比較し、経営状況の深刻度を示す比率。

平成30年度普通会計(注1)の歳入総額は約244億で、歳出総額は約231億となっており、差引は約13億円です。歳入のグラフを見ると、国や県などに依存している財源が79・8%を占めています。特に地方交付税は、歳入全体の50%近くを占めており、合併後15年間の優

遇措置期間が終了する令和3年度以降のことを見据え、これまでも増して慎重な財政運営を行う必要があります。(注1)普通会計：福祉・教育・まちづくりなどに使うためのお金である一般会計と土地取得事業会計、給食事業会計を合わせたもの。



平成30年度の主な事業

事業	金額 (万円)
保健・衛生のために	
育児用品購入費補助	1166万円
健康増進事業	2627万円
重度心身障害者等医療費助成	9326万円
子どもはぐみ医療助成事業	5792万円
生活向上のために	
三好市集落支援包括事業	2339万円
三好市本庁舎等整備事業	1億954万円
辺地地区等タクシー利用者助成事業	1467万円
生涯活躍のまちづくり事業	1億760万円
三野サブセンター機器整備事業	1億3731万円
産業振興のために	
鳥獣害対策事業	3835万円
消費者行政推進事業	513万円
武家屋敷 旧喜多家茅葺き屋根修繕工事	2969万円
落合古民家ステイ事業	2568万円
高性能林業機械導入補助事業	666万円
防災対策減災対策のために	
耐震関係事業	4786万円
街路灯LED導入事業	4086万円
防火水槽整備事業	2578万円
消防自動車購入事業	4298万円
池田町消防団第1分団詰所新築工事	3631万円
教育文化のために	
池田中学校武道場改修工事	4548万円
屋上防水改修工事(白地幼・池田小・三野中)	5251万円
旧三野町役場庁舎保存活用事業	1億2640万円
ウェイクボード世界選手権大会事業	5485万円
池田総合体育館改修事業	2億9587万円